

あべともこニュース

問われる政府の姿勢、“人権”を守る体制づくりを

◆旧統一教会問題の実態解明を！
旧統一教会と自民党の関係やその被害実態が少しずつ明らかに。

立憲民主党は、「旧統一教会被害対策本部」と野党合同ヒアリングでも問題追及中。23日開催の党対策本部の会合では、元「2世信者」の方からお話を伺いました。幼少期から「教え」と称し自分のお小遣いを両親から没収されたり、教会活動以外を許されず、精神疾患も負われたとのこと。同じような被害者が出ないよう、今こそ救済のための法制度の確立をお話されました。

18日には、葉梨法務大臣主宰「旧統一教会」問題関係省庁連絡会議の初会合が開催されましたが、2世信者で苦しむ方の人権や心理的側面の救済を担当する、厚生労働省や文科省、名称変更を認めた文化庁までもがメンバーに入っておらず、10日に発足した新内閣でも少なくとも30人が旧統一教会と接点があるとのこと。実態解明は急務です。
こうした政府の一連の動きは、実効性を欠いています。救済体制を早急に確立すべきです。



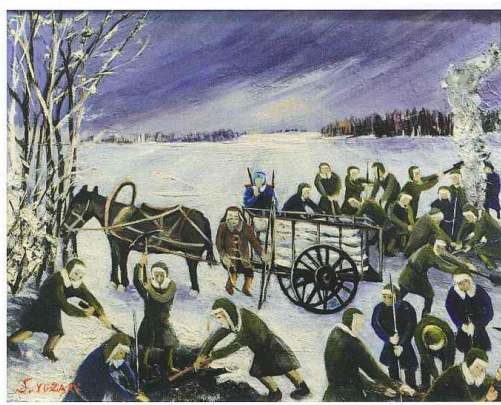
衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川12区（藤沢市・寒川町）
当選8回、東京大学医学部卒業、小児科医、あべともこ子どもクリニック（湘南台）理事長
現在、厚生労働委員会・沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員長、原子力問題調査特別委員会委員

あべともこ公式Twitter @abe_tomoko
あべともこ事務所公式Facebookページ
https://twitter.com/abe_tomoko
https://www.facebook.com/abetomoko.jp

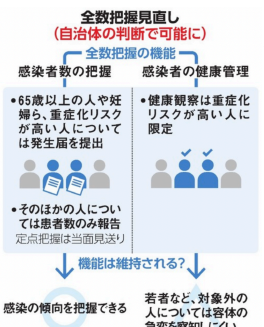
あべともこ 検索

あべともこ後援会入会及び、ボランティアスタッフ募集中！



勇崎作衛画『赤い吹雪』より「餓死した戦友を埋める」(⇒6-9頁参照)
画像：シベリア抑留者支援・記録センター通信 No.37,2022年7月15日

◆新型コロナ「全数把握」の必要性
21日迄のWHO調査によれば、新規感染者数が5週連続で世界最多、死者数も2週連続で世界2番目に多く、第7波収束が見えません。
24日、岸田総理は医療機関や保健所の負担を軽減する為に感染者の全数把握見直しの方針を明らかに。医療機関はこれまで感染者氏名や連絡先等を記載した発生届け提出でしたが、その対象を65歳以上の高齢者や入院が不要な方、重症リスクがある方に絞ると。しかし、これでは重症化になりかねない方の情報が抜け落ちてしまう可能性があります。
症状急変等に対応すべきフオロアップ機能も万全でない中、この方針は愚策です。



出典：8/25 コロナ全数把握、見直しでどうなる リスクあるので「自衛が重要」朝日新聞

◆シベリア・モンゴル抑留犠牲者追悼の集い
23日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑にて「戦後77年・第20回シベリア・モンゴル抑留犠牲者追悼の集い」に参加。
1945年8月23日、ソ連の指導者スターリンの指令で、「東京に帰す」と騙して、シベリア抑留は始まりました。労働力として酷使された日本人は、ロシア側資料によれば、63万人以上が抑留、6万人以上が死亡。一方、厚生労働省発表では、約57万5千人が抑留、5万5千人死亡（内モンゴル、約2千人）となっており、この差の解明には至ってません。亡くなられた方の遺骨もまだ2万柱しか収集されておらず、残りの遺骨はいまだにご遺族の元に戻られていません。
この集いは、平成15年から悲劇を伝えるべく開催されていますが、戦争が起きている今、2度とこのような人権を蹂躪した惨劇が起きてはなりません。